

令和5年度 指定管理者制度導入施設の運営管理状況について

芸北支所（商工観光課）

1 施設の概要等

施設名	芸北オークガーデン		
所在地	北広島町細見 10145 番地 104、10145 番地 80		
設置目的	優れた自然環境にある森林や原風景との共生を進め、その利用の増進を図ることによって、町民の住む喜びと誇りを高め、併せて都市住民にも開かれた農村空間の提供を促し、もって町の躍動に資する。		
施設・設備	森林の館、駐車場、総合交流ターミナル、野外ステージ1棟、常設テント3棟、交流広場（芝生広場）、水辺空間、グラウンド・ゴルフ場及び休憩棟、薪ボイラー室、薪倉庫、グランピング施設		
指定管理者	1期目	H22.4.1～H27.3.31	(株) 芸北プラモーション
	2期目	H27.4.1～R2.3.31	(株) 芸北プラモーション
	3期目	R2.4.1～R7.3.31	(株) 芸北プラモーション

2 施設利用状況

(人)

利用状況	年度		利用者数	対前年度増減
	第2期	H27		106,826
H28			98,077	△8,749
H29			94,134	△3,943
H30			83,171	△10,963
H31			89,620	6,449
第3期	R2		54,184	△35,436
	R3		58,018	3,834
	R4		63,717	5,699
	R5		73,236	9,519
増減理由	令和2年より世界的に感染が広がった新型コロナウイルスにより営業の自粛を余儀なくされ、利用者数の急激な減少となった。以降、令和3年度にかけて、度重なる緊急事態宣言の発令により営業自粛の影響が続いたが、感染拡大防止措置を講じながらの営業で利用者数は微増となった。令和5年度には新型コロナウイルスが感染症法の位置付けが5類に移行されたことにより、感染前の営業状態への回復の兆しが見え始めた。			

3 町委託料の状況

(千円)

町委託料	年度		金額	対前年度増減	料金収入	年度		金額	対前年度増減	
	町委託料	第2期	27	1,000		—	料金収入	第2期	27	147,766
28			1,000	0	28	134,969			△12,797	
29			1,000	0	29	133,597			△1,372	
30			1,000	0	30	121,255			△12,342	
31			1,000	0	31	125,052			3,797	
第3期		R2	4,000	3,000	料金収入	第3期		R2	65,027	△60,025
		R3	6,600	2,600				R3	64,255	△772
		R4	5,600	△1,000				R4	92,261	28,006
		R5	4,600	△1,000				R5	118,831	26,570

4 管理経費の状況

(千円)

項 目		R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	町委託料	4,600	5,600	△1,000	
		料金収入	118,831	92,261	26,570	
		その他収入	4,614	6,692	△2,078	
		計 (A)	128,045	104,553	23,492	
	支出	人件費	43,572	40,104	3,468	
		光熱水費	13,462	11,223	2,239	
		通信運搬費	375	402	△27	
		消耗品費	5,601	4,481	1,120	
		広告宣伝費	108	123	△15	
		材料費	36,203	27,748	8,455	
		燃料費	5,608	6,306	△698	
		賃借料	1,600	1,965	△365	
		委託料	2,904	2,865	39	
		福利厚生費	5,300	4,702	598	
		外注費	2,129	1,835	294	
		寄付金	0	0	0	
		修繕料	669	840	△171	
		接待交際費	31	25	6	
		保険料	275	412	△137	
		衛生費	2,923	1,891	1,032	
雑費	4,271	3,195	1,076			
減価償却費	200	700	△500			
租税公課費	2,482	2,174	308			
支払利息	310	359	△49			
計 (B)	128,023	111,350	16,673			
合計収支 (A - B)		22	△6,797	6,819		

5 管理運営状況

項 目		指定管理者 (事業計画、主な取組や新たな取組み)
施設の効用発揮	○設置目的との整合	○新型コロナウイルスの感染症法の分類が5類に移行され、個人消費の回復や観光客の増加がコロナ前の状況に戻りつつあるため、顧客の確保に努めた。
	○利用者サービスの向上	○経営健全化に向け準備を進めてきたグランピング事業を令和4年にオープン。資材の供給遅れにより、当初計画より遅れての営業開始となった。
	○利用促進、利用者増への取組	○グランピング事業の利用率向上のため、共同事業体との連携により、PRに努めた結果、2年目の利用者は大幅に増加した。
	○その他魅力的な提案	○株主優待による利用者増加を図った。
管理の人的物的基礎	○地域の人材雇用・活用方法	○地元人材の安定雇用を第一に考え運営した。また、周辺整備は地域住民で結成されるボランティアを活用した。
	○適切な管理運営 (物的能力)	○地元野菜の販売スペースを常設化しPRに努めた。
	○町内関係団体との連携	○学生の職場体験の受入れや同窓会を開催し学校との連携を深めた。 ○町内のグラウンドゴルフ同好会と連携し、定期的なグラウンドゴルフ大会を開催し普及に努めた。